


# 第5回全日本大学準硬式野球東西対抗日本一決定戦

## 甲子園大会 実施要項

- 1 主催 一般社団法人 全日本大学準硬式野球連盟
- 2 後援 共同通信社、報知新聞社、スポーツニッポン新聞社、高校野球ドットコム
- 3 協賛 (株)ガーディアンシップ (株)三機サービス 定山鋼材(株) (株)西村組 (株)ワキタ
- 4 大会趣旨 ① 大学準硬式野球界が野球人の「聖地」とも呼ばれる「甲子園」で全国大会を開催することで大学準硬式野球連盟の認知度向上を図る  
② 学生主体の大会運営、他団体との交流、インテグリティ研修・キャリア支援研修などを通じ所属部員にダイバーシティ・インクルージョン等を学ぶ場を提供する  
③ 上記を通じ大学準硬式野球連盟が文武両道、社会に役立つ人材育成の場であることを対外的に発信し、大学準硬式野球部員の増加による野球人口の増加、ファンの増加、ステークホルダー獲得を目指す  
④ 準硬式野球部員同士の交流を深め、より強固な組織を目指す
- 5 大会内容 ① 東西対抗日本一決定戦  
② インテグリティ研修会  
③ キャリア支援研修会  
④ 他団体との交流
- 6 会期 令和8年11月24日(火)9時プレーボール予定 ※雨天中止  
※PMは9ブロック対抗大会決勝戦(12時15分プレーボール予定)  
※遠征期間 令和8年11月21日(土)～24日(火)  
※11月21日(土)13時：ホテルプラザオーサカ集合予定
- 7 会場 阪神甲子園球場
- 8 編成 Eastern Team 北海道(3)、東北(3)、関東(14)、東海地区(5)  
Western Team 関西(11)、北信越(3)、中国(2)、四国(2)、九州地区(7)  
( )内は選出数
- 9 参加者 ① 団長1、監督1名、コーチ1名、学生委員長1名、マネージャー1名、スコアラー1名、トレーナー2名、学生解説者1名、選手25名(各チーム)  
※背番号は監督30番、コーチ26～29番、主将10番とし、選手はそれ以外の1番から50番までとする。  
② 審判6名(主審1名、塁審3名、線審2名)  
③ ボールパーソン2名(各チーム)
- 10 参加資格 (一社)全日本大学準硬式野球連盟に登録している者

- 11 申込について ①から④を準備し下記QRコードから 7月末日までの申込みとする
- ① 学業成績証明書
- ② 選考基準のスポーツ基準がわかる資料
- ③ 自己推薦書（本大会への意気込み）
- ④ 他己推薦書（各大学（チーム）の部長あるいは監督、主将、各地区責任者等（リーグ責任者を含）のいずれかによる推薦書（この推薦書には、本連盟が目指している「マナー向上」を含む人物所見の記載を含む）
- 
- 12 選考について 提出書類に基づき、以下の選考とする
- ① 申込終了後、所属地区連盟は割当人数を基に選考し、8月末日までに甲子園プロジェクトチームに推薦する
- ② 選手以外の選考は甲子園プロジェクトチームで選考する
- ③ 選手及びマネージャー・スコアラーの選考は、各地区から推薦のあった者を両チームの首脳陣（学生委員長含）及びプロジェクトチームで最終決定する
- ④ 審判は各地区から1名以内の推薦とする
- ⑤ ボールパーソンは各地区から1名以内の推薦とする
- ⑥ 特別な事由がある場合は、甲子園プロジェクトチームで選考する
- ※9月下旬までに最終決定する
- 13 提出先 （一社）全日本大学準硬式野球連盟事務局 メール：[y-office@junko.or.jp](mailto:y-office@junko.or.jp)
- 14 適用規則 2026年度版公認野球規則及び別に定める特別規則を適用する
- 15 使用球 全日本大学準硬式野球連盟公認球 H号（ナガセケンコー社製）
- 16 試合着 東西対抗戦用のユニフォームとする
- 17 参加記念品 特別記念パーカー
- 18 開会式 11月21日（土）
- 19 閉会式 試合戦終了後に実施予定
- 20 宿泊 ホテルプラザオーサカ
- 21 参加費 上記9の参加者①～③の学生一律7万円
- ※本大会に関わる往復交通費は自己負担とする。ただし、新幹線、特急列車、航空機、高速バスを利用する場合は、当該車両の乗車券（特急券含む）、航空券の往復金額の5割を補助する。
- 22 観戦 一般開放し無料で入場可能とする
- 23 問合せ先 （一社）全日本大学準硬式野球連盟事務局 電話：03-3401-0824（平日10時～16時）
- 24 その他 ① 競技中の選手の負傷等の事故については、大会本部で応急処置を施すが、それ以上の負傷等については、主催者で責任を負えないので必ず保険証を持参すること
- ② この要項にない事項については、全日本大会の競技運営に関する規則に準ずる。また、甲子園プロジェクトチームの協議で決定する。